【SR-8　評価シート　エビデンス総体（絶対効果指標の結果を記入する場合）】

診療ガイドライン	早期乳癌に対して、dose dense化学療法は勧められるか？
対象	化学療法を行う早期乳癌
介入	dose-dense chemotherapy
対照	standard interval chemotherapy

エビデンスの強さについて，RCT は「強（A）」からスタート，観察研究は「弱（C）」からスタート。
＊各ドメインは「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
＊＊エビデンスの強さは「強（A）」，「中（B）」，「弱（C）」，「非常に弱（D）」の4 段階。
＊＊＊重要性はアウトカムの重要性（1 〜 9）。

エビデンス総体

								リスク人数（アウトカム率）													
アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95％信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント	絶対効果	効果指標統合値	95％信頼区間
OSの延長	RCT/5	0	-1	0	0	0		4894	765	15.6%	4857	667	13.7%	RR	0.85	0.71 - 1.01	A	9		-2%		-5 - 0
IDFS/DFSの延長	RCT/5	-1	0	0	0	0		4888	1119	22.9%	4831	966	20.0%	RR	0.87	0.80 - 0.94	A	8		-3%		-5 - -1
QOLの低下	RCT/1	-2	0	0	-1	0		484	278	57.4%	467	313	67.0%	RR	1.17	1.06 - 1.29	C	6	EORTC QLQ -C30の10ポイント以上の低下をイベントとした。	10%		3 - 16
貧血の増加	RCT/2	-1	-2	0	0	0		2139	793	37.1%	2033	1086	53.4%	RR	1.48	1.23 - 1.78	C	5	G3に限定するとRR6.46 (1.69 - 24.74)。但し頻度はdd群で0.7%。	17%		14 - 20
FNを含むG3以上の感染症の増加	RCT/1	-2	0	0	-1	0		1070	38	3.6%	1045	15	1.4%	RR	0.4	0.22- 0.73	C	5	FNG3のみの検討	-2%		-3--1
CINVの増加	RCT/2	-2	0	0	0	0		2139	55	2.6%	2033	63	3.1%	RR	1.21	0.85 - 1.73	B	5	嘔気G3以上の評価	0%		-0 -1
Grade3以上の有害事象の増加	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	利用可能なデータなし			

コメント（該当するセルに記入）

			I2 =66%															
		非盲検_影響小																
		非盲検_影響大 症例減少			評価方法の的確さに疑問													
		非盲検_影響小	I2=84%															
		非盲検_影響大			dd以外の化学療法あり													
		非盲検_影響大																